枚方市立長尾中学校１年生学年通信

がんばろう４４期生

２０２０年７月２９日（水）発行

第５号

あなたの番です

コロナ禍でなんだかんだとありましたが、ようやく中学校生活にみなさん慣れてきたころだと思います。そんな激動？の1学期も残すところ 1週間となりました。

長尾中学校では、学期毎に各クラスで「学期の振り返り」をしています。授業態度やチャイム席、そうじ、約束事、そして学級目標や学年目標などについて、自分たちのクラスや学年がどうだったのかを振り返り、2学期の学校生活へとつなげていくのです。

卒業の言葉

3年前の春、桜のたびらが舞う中、私たち41期生の希望あふれる中学校生活が始まりました。新しいクラス発表を見た時、ドキドキしていたのをよく覚えています。初めて会った時、すべてのことが初めて。とても緊張しました。友だちができるか不安でしたが、同時に、初めて会う人たちと一緒に、充実した中学校生活を送ればいいなと気持ちになりました。

今日、3年間共に過ごしてきた仲間と、卒業の日を迎えることができたことを、本当に嬉しく思います。楽しかったこと、うれしかったこと、辛かったこと、苦しかったこと、いろいろありましたが、仲間と共に私たちは成長してきました。ここまでこることができたのは、いつも熱心に指導してくださった先生方、どんな時も見守り、支えてくれた家族、そして何よりこの2年間いっしょにすごしてくれた仲間のおかげです。本当にありがとうございました。あっという間の中学校生活でしたが、これまで歩んできた足跡を、この卒業の言葉で振り返ります。

小学校の時からずっと楽しみにしていたクラブ活動。小学校と違い、中学校のクラブ活動は本格的で、色々と覚えることが多くて、不安でした。しかし顧問の先生方や、先輩から優しく教えていただき、だんだん慣れていけれ、クラブ活動が楽しくなっていきました。

2年生になると、初めての後輩がでて、教える立場になりました。後輩との接し方を大いに学びました。

そしていよいよ引退が近づくと、皆さん熱心になりました。練習が厳しく、辛い思いをしたり、試合に負けた時に悔しい思いをした時もありましたが、仲間と支え合いがんばった2年間のクラブ活動は、私たちにとってまさに一宝物です。

中学校での「宿泊学習」。

1年生では兵庫県淡路島に行きました。海近くのローエレメントでは、クラスの仲間と協力し、みんなで達成感を味わいました。また、海水タル見学やイイカたのふれいなど、貴重でないような体験もできました。夜のクラスレクでは、班の個性が出て、大いに盛り上がりました。

2年生の奈良公園、奈良には大仏や東大寺などの歴史を感じられるものがたくさんありました。その中を班でポイントを回り、問題を解いたり、鹿にせんべいをあげたりして、充実した校外学習になりました。

1年間の思い出を作ることができた「修学旅行」。私たちは長尾村、自然の広大な地で、班ごとにチェックポイントを巡るロゲイニング山を登るためのロープウェイは、風に揺れるたびにヒリルを味わえるものでした。夜はクラスレクが行われ、疲れが吹き飛ばされ、とても盛り上がりました。

2日目は、いよいよラフティングです。最初は思われず前に進まず難しかったですが、仲間と協力していくことで、少しずつ前進することになりました。

夜は修学旅行の醍醐味でもあるクラスミーティング。普段あまりこないクラスメイトたちの真剣な姿がありました。今まで以上にクラスの絆が深まりました。クラスにとってかけがえのない時間でした。

帰りのバス内では、楽しかった日間の思い出を話したり、カラオケで熱唱し、最後まで修学旅行を満喫することができました。

心をひとつに、最後まであきらめなかった「体育祭」。

中学校最後の体育祭は、雨空の下、熱い競技が繰り広げられました。多くの勝利があった中、心は1学期レベルが一番印象に残っています。バトンパスを上手く、各クラス一生懸命練習し頑張った。本番では、「入一人の輪いっぱい」声援を送り、生徒はそれに応えるかの、全力で走り抜きました。団対抗での仮装競争、クラスの仮装は、クラスの学年だけでなく、学校全体の団結力が発揮されました。

最高の思い出、「文化祭」。

1年生では学年合唱をしました。バトントリーダーを中心に、クラス、学年で練習を重ね、本番ではそれをひとつに歌いきりました。また、現で協力し、ステンドグラスの制作にも取り組みました。何度も失敗を重ねながらも、最後はとてもきれいに仕上がりました。

2年生の時は、クラス合唱でした。時にはクラスで取り立てることもありましたが、バトントリーダーを中心として、乗りそして、中学校生活最後の文化祭。あっという間のない中、制作と練習に追われました。本番では、各クラスの合唱は、「夢の中へ」。ピアノ、ギター、間奏、通奏などそれぞれが個性を生かしました。各クラス本当に最高の歌でした。この文化祭を通じて、クラスの絆やチームワークが大幅に深まりました。

私たちは義務教育最後の年になり、今までに最大の壁に直面という、これまでにはっきりとした、最初のうちはこんなに悩み、困ることもあるのだとは思っていませんでした。しかしだんだんと進路の話が出てくるようになり、緊張、友だちとの進路について話し合ったりしました。考えれば考えるほど、大きな決めのしかかりが、緊張感を高めていくようなものでした。何度も何度も悩み抜いて、自分の将来を考えて、自分なりの答えを出すことができました。そして家族でも、色々な悩みを共有し、支えてもらい、やっと進路が決まることができました。私たちは、それぞれの道へ進んでいきます。環境は変わりますが、この3年間で学んだことをしっかり活かして、私たちは夢と望に向かって大きな一歩を踏み出します。

私たちは、個性があふれ、とても元気な学年でした。けれどもこの3年間、時には人の嫌がることをしたり、周りの迷惑になる行為をするなどの問題がありました。そのたびに学年集会やクラスで話し合いを持ち、他人事にせず、共に反省し、助け合ってきました。学年が上がっていくにつれ、問題も徐々に減っていき、私たちは成長していくことができました。今ではこの41期生の一員であること、長尾中の生徒であることをとても誇りに思います。

名残はつきませんが、いよいよ卒業です。どんな時も支え合いながら、共に歩み、共に反省、助け合ってきました。中学生活の思い出は